

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 2 区分

【発行日】平成28年12月28日 (2016.12.28)

【公開番号】特開2016-2561 (P2016-2561A)

【公開日】平成28年1月12日 (2016.1.12)

【年通号数】公開・登録公報2016-002

【出願番号】特願2014-123622 (P2014-123622)

【国際特許分類】

B 2 3 K 3/02 (2006.01)

【F I】

B 2 3 K 3/02 H

B 2 3 K 3/02 L

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月9日 (2016.11.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

筐体と、

前記筐体の内部に通じる差入口と、

前記筐体の内部に設けられ、回転する回転軸と、

前記回転軸に取り付けられ、前記回転軸が回転すると、前記差入口から前記筐体の内部に差し入れられたはんだこてのこて先に繰り返し接触するシートと、

前記筐体の内部に設けられ、前記回転軸が回転すると前記シートが繰り返し接触するく

ず取り棒と、

を備えたはんだこてクリーナ装置。

【請求項 2】

前記差入口は、前記筐体の開口面に取り付けられたカバーが有するスリットである請求項 1 に記載のはんだこてクリーナ装置。

【請求項 3】

前記差入口にはんだこてのこて先が差し入れられたことを検知する第 1 センサを備え、

前記回転軸は、前記第 1 センサの検知結果に基づいて回転を開始する請求項 1 又は 2 に記載のはんだこてクリーナ装置。

【請求項 4】

はんだこてを支持するこて台を備え、

前記シートは、はんだこてが前記こて台に支持された状態で前記回転軸が回転すると、当該はんだこてのこて先に繰り返し接触する請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載のはんだこてクリーナ装置。

【請求項 5】

前記こて台にかかる重量を検知する第 2 センサを備え、

前記回転軸は、前記第 2 センサの検知結果に基づいて回転を開始する請求項 4 に記載のはんだこてクリーナ装置。

【請求項 6】

前記筐体は、前記筐体の内部の底部を視認するための透明な部分を有する請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載のはんだこてクリーナ装置。

【請求項 7】

前記回転軸は、第 1 回転軸及び第 2 回転軸を備え、
前記シートは、
前記第 1 回転軸に取り付けられた第 1 シートと、
前記第 2 回転軸に取り付けられた第 2 シートと、
を備え、
前記第 1 シート及び前記第 2 シートは、前記第 1 回転軸及び前記第 2 回転軸が回転すると、前記差入口から前記筐体の内部に差し入れられたはんだこてのこて先の両側に交互に接触する請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載のはんだこてクリーナ装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明に係るはんだこてクリーナ装置は、筐体と、筐体の内部に通じる差入口と、筐体の内部に設けられ、回転する回転軸と、回転軸に取り付けられ、回転軸が回転すると、差入口から筐体の内部に差し入れられたはんだこてのこて先に繰り返し接触するシートと、筐体の内部に設けられ、回転軸が回転するとシートが繰り返し接触するくず取り棒と、を備えたものである。